

平成23年度研究科横断型教育プログラム(Aタイプ)授業科目

担当研究科名 Department	地球環境学舎（京都サステイナビリティ・イニシアティブ）	横断区分	文理横断型	開講場所 Room	稲森財団記念館 3階小会議室 I(330)				
授業科目名 Course Title	東南アジアの環境と社会 Environment and Society in Southeast Asia			講義担当者 所属・氏名 Instructor	東南アジア研究所・安藤和雄				
配当学年 Eligible for	修士 博士後期 専門職	単位数 Credit	2単位	開講期 Semester	前期	曜時限 Time	月3限 (13:00-14:30)	授業形態 Format	講義・演習
【授業の概要・目的】 Course Description									
<p>東南アジアとその周辺域における自然資源の持続的利用、およびより広く環境と人間生活に関わる諸問題について、技術的・生態学的観点からのみならず、民族、開発、社会経済システムやポリティクスといった点からも幅広くとりあげ、南アジア、日本との比較の視点を含め個別事例的に検討する。</p> <p>Case studies on the sustainable utilization of natural resources in Southeast Asia and the surrounding area, global issues on environment and human life using ethnic issues, development, socioeconomic system and politics as well as technological and ecological points of view.</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 講義は、多彩な専門分野をバックグラウンドとする6名程度の教員によるオムニバス方式（1人2回）で行う。取り上げるトピックスの例としては、大河川デルタの農業と農業開発、焼畑システムとその変容、森林・放牧地など地域共有資源の管理・利用と住民組織の問題、山地少数民族の生業と社会変容、棚田の保全と地域開発、地球規模で進む社会の高齢化に関する諸問題、農村問題、ジェンダー、技術変容などである。グローバル化する世界において地域のあり方が問われている。既成学問の枠に囚われない地域研究のアプローチと考え方が必要とされている所以でもある。東南アジア研究所が長年培ってきた文理融合の学としての地域研究の可能性と方法について学んでいく。</p> <p>Lecture will be held in omnibus style by six professors who have a variety of academic backgrounds. Each topic will be discussed during a session of two lectures. Topics will be such as agriculture and agricultural development in a delta land, swidden system and its transformation, community based organization and administration/utilization of common resources/land, livelihood and social transformation of ethnic minorities in mountainous area, local development and maintain the integrity of terrace paddy fields, aging society, rural issue, gender, transformation of technology etc.</p>									
【授業計画と内容】 Course Schedule									
<p>第1回：（安藤＋水野） 遠隔講義による東南アジアの環境と社会のユニークさから何をまなぶ意義＋東南アジアの農業技術変容とその広がり-古代から展望する1</p> <p>第2回：（安藤）東南アジアの農業技術変容とその広がり-古代から展望する2</p> <p>第3回：（清水）生存基盤としての自然・文化環境：北部ルソン先住民の事例から－1</p> <p>第4回：（清水）生存基盤としての自然・文化環境：北部ルソン先住民の事例から－2</p> <p>第5回：（河野）東南アジア大陸部における開発と持続性1</p> <p>第6回：（河野）東南アジア大陸部における開発と持続性2</p> <p>第7回：（水野）インドネシアの住民組織と持続的発展－自然資源管理</p> <p>第8回：（水野）インドネシアの住民組織と持続的発展－小規模ビジネス</p> <p>第9回：（松林）東南アジアと日本の高齢化社会とフィールド医学から考える1</p> <p>第10回：（松林）東南アジアと日本の高齢化社会とフィールド医学から考える2</p> <p>第11回：（速水）森林保護と開発をめぐって：少数民族の声</p> <p>第12回：（速水）国境を越える少数民族の生活実践</p>									
【履修要件】 Requirement									
<p>受講生にレポートの提出、発表をもとめる。英語での講義となり、インドネシア、マレーシア等との遠隔講義となる講義もある。</p>									

〔成績評価の方法・基準〕 Grading

レポートと出席状況（授業時の発表）などの平常点

〔教科書〕 Textbooks

なし

〔参考書等〕 References

「事典東南アジア」1997年弘文堂
「アジア研ワールドトレンド2006-6第129号」2006年アジア経済研究所
「国際農林業協力2001-1124巻7号」2001年国際農林業協力協会
「森と人のアジア」山田勇編1999年 昭和堂
「社会変容と助成」窪田幸子・八木祐子編1999年 ナカニシヤ出版
「東南アジア研究」41(4)、2004年東南アジア研究所
「エコソフィア14号」2004年昭和堂
「岩波講座「帝国日本」の学知、7巻—（実学としての科学技術）2006年岩波書店

〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕 Other Information

各講義の担当からの個別の指示に従う